

帯広市バイオマス活用推進計画 事後評価報告書

1. 帯広市バイオマス活用推進計画及び事後評価の趣旨

(1) 経過

帯広市バイオマス活用推進計画（以下、本計画）は、本市が有する地域資源であるバイオマスの活用推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、持続的に発展することができる地域経済社会を実現するため、バイオマス活用推進基本法（平成 21 年法律第 52 号）第 21 条第 2 項に規定する市町村バイオマス活用推進計画として平成 25 年 2 月に策定しました。

本計画は農業を基幹産業とした豊富なバイオマスの利活用を進め、自然と共生する循環型・環境保全型の地域社会づくりを推進することを目的としています。

また、本計画では平成 30 年度に中間評価を実施し、中間評価においては利用量・利用率を整理するとともに取組み工程のスケジュールについて進捗状況を確認し、目標や取組み内容の見直しを行いました。

(2) 事後評価の概要

本計画に基づき、令和 5 年度に事後評価を実施し、種類別バイオマス利用状況及び取組みの進捗状況に加え、廃棄物処分量削減効果など評価指標により効果を測定することとします。

また、計画期間全体の総合評価として、改善措置等の必要性や社会情勢の変化等を踏まえ、計画期間終了後の目標達成の見通しについて整理し、今後有効な取組みについての検討を行います。

2. 目標達成状況等

(1) バイオマス利用状況

① 実績

(利用率については炭素換算)

バイオマス	目標			基準値(平成23年度)			中間実績値(平成29年度)			実績値(令和4年度)		
	賦存量 (t/年)	利用量 (t/年)	利用率 (%)	賦存量 (t/年)	利用量 (t/年)	利用率 (%)	賦存量 (t/年)	利用量 (t/年)	利用率 (%)	賦存量 (t/年)	利用量 (t/年)	利用率 (%)
家畜ふん尿	443,362	437,699	98.7	301,904	294,763	97.6	440,032	434,468	98.7	350,867	346,447	98.7
家庭系生ごみ	13,778	2,990	21.7	14,251	2,159	15.1	14,088	2,328	16.5	12,643	2,420	19.1
食品加工残さ	55,416	46,421	83.8	50,032	40,026	80.0	44,275	37,058	83.7	16,659	14,596	87.6
廃食用油	1,848	166	9.0	1,848	148	8.0	1,834	120	6.5	1,834	115	6.3
給食残さ	237	237	100.0	201	201	100.0	237	237	100.0	204	204	100.0
製材工場等 残材	80,803	80,803	100.0	28,986	28,986	100.0	56,165	56,165	100.0	39,143	39,143	100.0
廃業紙	7,742	7,725	99.8	9,253	9,231	99.8	8,107	8,086	99.7	6,863	6,842	99.7
下水汚泥	4,020	4,020	100.0	2,499	2,499	100.0	3,553	3,553	100.0	3,082	3,082	100.0
し尿浄化槽 汚泥	-	-	-	85	85	100.0	467	467	100.0	464	464	100.0
小計	607,206	580,061	95.5	409,059	378,098	92.2	568,758	542,482	95.4	431,759	413,313	95.7
林地残材	1,737	0	0.0	1,328	0	0.0	1,495	0	0.0	973	0	0.0
公園・街路樹間伐 材、剪定枝、刈草 など	1,600	1,041	87.6	1,890	997	75.2	1,600	956	80.3	745	694	97.4
麦かん 豆がら	72,715	66,607	91.6	66,158	60,592	91.6	72,715	66,115	90.9	58,318	52,107	89.3
選果場残さ	6,514	4,469	68.6	6,739	2,781	41.3	6,564	3,295	50.2	5,708	3,308	58.0
てん菜(余剰)	-	-	-	3,550	3,550	100.0	-	-	-	-	-	-
小麦(規格外)	-	-	-	2,530	2,530	100.0	-	-	-	-	-	-
小計	82,566	72,117	88.6	82,195	70,450	88.9	82,374	70,366	88.4	65,744	56,109	88.3
合計	689,772	652,178	94.3	491,254	448,548	90.9	651,132	612,848	93.8	497,503	469,422	94.4

② 分析

本市に賦存するバイオマスについては49万8千tのうち46万9千tが活用され、利用率は94.4%となり、目標である94.3%を0.1ポイント上回りました。

バイオマスの利用が進んだ要因として、本市に賦存するバイオマスのおよそ7割を占める家畜ふん尿について、家畜の飼養頭数増加に伴い、賦存量・利用量が増加したこと、食品加工残さについて、産業廃棄物処理業者がバイオガスプラントを整備し、廃棄処分されていた食品加工残さがエネルギーとして利用されたことがあります。

(2) 廃棄物処分量削減効果

	基準値（平成23年度）			中間実績値（平成29年度）			実績値（令和4年度）			廃棄物 処分量 削減効果 (t/年) a-b
	賦存量 (t/年)	利用量 (t/年)	廃棄物 処分量 (t/年) ^a	賦存量 (t/年)	利用量 (t/年)	廃棄物 処分量 (t/年)	賦存量 (t/年)	利用量 (t/年)	廃棄物 処分量 (t/年) ^b	
廃棄系 バイオマス 合計	409,059	378,098	30,961	568,758	542,482	26,276	431,759	413,313	18,446	12,515

※賦存量－利用量を廃棄物処分量としている。

計画当初（平成 24 年度集計）と比較し、12,515t/年の廃棄物処分量の削減を実現しました。

3. 今後の対応

自然と共生する循環型・環境保全型の地域社会の実現のために、バイオマスの利活用を継続して取り組む必要があることから、令和 6 年度からは「帯広市ゼロカーボン推進計画」に当取組に関する内容を包含し、定める取り組みの進捗評価項目「バイオマス利用率」の増加に向けて、引き続きバイオマス活用の取り組みを進め、持続可能な脱炭素社会の実現を目指します。

以 上